

平成30年1月17日付【河北新報】

東北支部＜災害対応に備へ県と協定を締結＞

災害対応に備え 県と協定を締結

上下水道協会東北支部

県は16日、災害時の水道施設の被災状況調査や緊急復旧を迅速に行うため、全国上下水道コンサルタント協会東北支部と協定を結んだ。同支部が自治体と協定を結ぶのは初めて。

東北支部には建設コンサルタント会社など19社が加盟。災害が発生した場合、

県の要請に応じて支部が派遣業者を調整し、被災地の応急支援などに当たる。

県庁であった調印式には、協会の高橋郁支部長、県の遠藤信哉公営企業管理者ら6人が出席。高橋氏は「災害対応への体制を作り替えたい」と話し、遠藤氏は「高い技術力と専門性を生かすことができ、大きな意味がある」と強調した。